

2025.12
vol.16
徳洲会看護部マガジン

徳看

MAGAZINE

TOKKAN magazine vol.16



いのち
生命だけは平等だ

徳洲会は「いつでも、どこでも、誰でもが最善の医療を受けられる社会」を目指して、
私たちに何ができるかを真剣に考えているグループです。

美しく 力強い 生命とともに

徳洲会の原点 離島へき地医療

～離島へき地医療を守る看護・介護職員たち～

徳洲会看護部

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-3-1 東京堂千代田ビルディング14階 TEL:03-6695-0305
徳洲会看護部ホームページ <https://www.tokushukai.or.jp/kangobu>



2025.12



Welcome Message

離島医療を守ってきた思い

一般社団法人徳洲会
看護部門 教育部 部長補佐 照屋 いずみ

日本は多数の離島を抱える島国であり、地域医療の課題は極めて複雑かつ深刻です。中でも看護師の確保は、医療の質と継続性を支える要であり、看護師派遣の取り組みは地域医療の“命綱”とも言える存在です。

2020年から2023年にかけて、新型コロナウイルス感染症の拡大は離島地域にも深刻な影響を及ぼしました。限られた医療資源の中で住民の命と健康を守るには、迅速かつ確かな対応が求められました。私は沖縄ブロック長として、離島4病院への看護師派遣を「緊急かつ重要な使命」と位置づけ、体制の強化に尽力してまいりました。

感染への不安が高まる中、最前線で働く看護師の安全と健康を最優先に考えながらも、地域の安心を守るための派遣体制を整備しました。派遣された看護師は、単に医療を提供するだけでなく、住民の不安を和らげ、地域に信頼と希望をもたらす大きな役割を果たしてくれました。

離島へき地での医療・看護の経験は、看護師一人ひとりの成長につながります。徳洲会グループの理念に共感した仲間が互いに協力し、切磋琢磨することで、離島医療への貢献が生まれ、地域医療を支える力となります。

徳洲会の原点である離島へき地医療を守り続けるために、今後も、どのような状況下においても地域医療を守り抜く体制づくりに全力を尽くしてまいります。



離島へき地の医療・看護と地域の魅力！ 石垣島徳洲会病院・宮古島徳洲会病院	P.04
屋久島徳洲会病院・沖永良部徳洲会病院	P.06
与論徳洲会病院&訪問看護ステーションゆんぬ・喜界徳洲会病院	P.08
徳之島徳洲会病院・名瀬徳洲会病院	P.10
瀬戸内徳洲会病院・笠利病院&通所リハビリ	P.12
日高徳洲会病院・新庄徳洲会病院	P.14

Contents

TOKKAN magazine vol.16

インドネシア特定技能生26名が新たに徳洲会の仲間！	P.16
海外研修~中華人民共和国~	P.18
新しく仲間になる病院・施設	P.20

笑顔と元気のもと、ONとOFFの両立!

離島へき地の
医療・看護と地域の魅力!



Ishigakijima

石垣島
徳洲会病院

沖縄県
石垣島

離島のDX推進

外来看護師の業務負担軽減を目的に“内視鏡検査の説明動画”を制作しました。医師・内視鏡技師と連携し、検査の流れや注意点をわかりやすく伝える動画となっています。ナレーションやイラスト・写真にもこだわり、初めての方でも安心して受けられるよう工夫しました。導入後は「イラスト説明でわかりやすかった」「業務量が減った」といった声が多く寄せられ、患者さまの満足度と業務効率改善の両面でDX推進の効果を实感して



います。検査説明の質を維持しながら、他の業務に時間を充てられるようになったことで、スタッフの働き方にも良い変化が生まれ、現在は他検査や入院説明への展開も進めながら、DX推進を継続しています。今後は、より安全で質の高い看護の実現を図りたいと思います。



サンゴ礁が広がる海で“シーカヤック”!

石垣島の周りには多くのサンゴ礁が広がり、1年を通して美しい海を楽しむことができます。マクロからワイドまで多彩な海の生き物たちに癒され、何度潜っても飽きることがありません。ダイビング以外にもシュノーケリングやSUP、シーカヤックなどいろいろな遊びを楽しんでいます。



サンゴと遊べるマリニ



広々と快適さあふれる機内

Miyakojima

宮古島
徳洲会病院

沖縄県
宮古島

内視鏡応援JET Japan Endoscopy Team

離島へき地から都市部に立地する病院・診療所まで積極的に内視鏡応援に取り組む岸和田徳洲会病院の消化器内視鏡チームは、2024年4月に“Japan Endoscopy Team(JET)”として発足。応援先は27施設(25病院・2診療所)に上り、宮古島の内視鏡応援は、5,066件に達しました。

HondaJet (徳洲ジェット) | 2024年度搭乗便 17便 / 2025年度搭乗便 10便
宮古島へは4回出動



離島医療プロジェクトの実践

宮古島徳洲会病院では、2012年より岸和田徳洲会病院から内視鏡応援をいただき、現在年間5,800件の内視鏡検査の85%以上を請け負ってもらっています。スクリーニング検査から早期がんの発見、ESD等の治療を離島でも受けられ「いつでも、どこでも、誰でもが最善の医療を受けられる社会」を目指す、徳洲会の使命をまさに実践しています。

休日、夢中にさせる“サーフィン”!

宮古島はサンゴ礁が発達しプランクトンが少なく透明度が高いため、宮古ブルーの美しさを引き立てているといわれています。そんな海で休みの日に夢中になって楽しめるのが“サーフィン”です。心身共に癒され仕事への活力につながっています。



笑顔と元気のもと、ONとOFFの両立!

離島へき地の
医療・看護と地域の魅力!

Yakushima

鹿児島県
屋久島

屋久島
徳洲会病院

みんなで絆ぐ 命のリレー

関東の病院から屋久島に移住し、現在は外来に所属しています。外来の業務は、一般外来・救急・内視鏡・特別診療と多岐にわたります。主に内視鏡を担当していますが、吐血などで緊急内視鏡の介助を行うことも。その際、大量の吐血で輸血が必要な場合がありますが、



石毛 美由紀さん

島内にはO型6単位の備蓄しかありません。大量の吐血や交通外傷の出血などで生命の危険があり、緊急で輸血が必要な場合には「供血者登録制度」を利用することがあります。この制度では、あらかじめ登録している島民が協力して供血に応じてくださるため、限られた備蓄しかない環境でも患者さまの命を守るための大切な支えとなっています。都市部の病院で勤めていた私にとっては、衝撃的な経験でしたが島のみんなで命をつないでいると実感できます。



自然を満喫“屋久杉トレッキング”!

屋久島は、海も山も川も近い! 都会だと目的地に行くだけで時間を費やしますが、屋久島はすぐ目の前にあり、1日をとても有意義に過ごすことができます。休日は、家族や職場の同僚と屋久島の自然を満喫しています。

Trekking



沖永良部
徳洲会病院

鹿児島県
沖永良部島

まさに 命を救う現場

Okinawa

沖永良部徳洲会病院は、沖永良部島の医療の最前線を担う医療機関です。限られた医療資源の中で、地域住民の健康と命を守るため、24時間体制で救急医療に対応しています。重症患者さまの搬送には、ドクターヘリや自衛隊の協力を得て、迅速かつ確かな医療連携を実現。島外から集まる応援ナースの存在も大きく、幅広い医療と温かさを兼ね備えたケアが提供されています。医師や看護師、スタッフが一丸となり、離島という制約を超えて、安心と信頼の医療を届ける姿勢は、まさに“命を救う現場”そのものです。当院では、特定分野に特化したスペシャリストよりも、幅広い知識と柔軟な対応力を持つジェネラリストの看護師が多く在籍していることも特徴です。



歴史が息づく“冒険の島”!

沖永良部島には、自然の迫力と歴史の深みを感じられる魅力的なスポットがたくさんあります。ケイビングや星空、ウミガメ、クジラ、マリンスポーツ、世之^{よのぬし}主伝説[※]、西郷隆盛関連など数えきれないほど。自分だけのプライベートビーチを探すことも楽しみの1つです。

※15世紀の琉球王国時代に沖永良部島を統治していた島主「世之主」の悲劇的な最期を巡る伝説



笑顔と元気のもと、ONとOFFの両立！

離島へき地の
医療・看護と地域の魅力！



鹿児島県
与論島

魂が宿る“我が家で” 最期を看取る

与論島は鹿児島県と沖縄県の間にある周囲20kmほどの小さな島で「顔の見える関係」を築けるのが離島医療の魅力です。医療資源が限られる中、看護師のスキルが直に役立っている実感があります。また「家に魂が宿る」と考えられ、最期を自宅で迎える風習が根強く残っている島でもあります。10年前は8割在宅看取が、現在は4割に減少。介護力の低下と島外在住や働いている方が多く、キーパーソンが減少しているのが現状です。その中で、2022年7月訪問看護ステーションゆんぬが開設となり「我が家で」の島の在宅療養を支援。「ときどき入院、ほぼ在宅」の理念のもと、地域で安心して療養生活を送れるよう心を込めてサポートしています。住み慣れた自宅や地域で安心・安全に療養生活を送れるように、また現状を維持しながら自宅での生活が継続できるように、ご家族が安心して島外で生活ができるように、皆さまの声を傾聴しご希望に添えるよう努力しています。スタッフ間で常にカンファレンスを行いサービスの向上を目指して想いを一つにし、与論島の在宅療養を支援しています。

与論徳洲会病院
訪問看護ステーションゆんぬ



与論の自慢は“ダイビング&カフェ”！

隆起珊瑚礁に囲まれた美しい「ヨロブルー」と呼ばれる海でシュノーケリング、SUP、ダイビング、魚釣りなどが楽しめます。また、島の食材を活かしたオシャレなカフェも人気です。地元の人とのつながりが強く、地域イベントや祭りへの参加など、与論島の暮らしと文化を体験できます。



Cafe



Diving

新病院で 質の高い看護を

人口約6,500人の喜界島で唯一の病院です。2024年12月に新築の綺麗な病院に移転し、より快適な環境のもと、働けるようになりました。新病院では、スマートフォン端末や見守りカメラなどを導入し、DXを推進。業務の効率化はもちろん、患者さまの安全確保と質の高い看護の提供に力を入れています。



永野 優希さん

新病院は役所や学校が徒歩圏内にあり「島の災害拠点」という重要な役割を担う場所に位置しています。在宅医療や健診事業にも積極的に取り組み、地域の皆さま一人ひとりの健康と生活を支えるかかりつけ医として、尽力しています。都会の喧騒を離れ、心穏やかに、そしてやりがいを持って働ける環境がここにあります。

美しく豊かな自然が光る “サトウキビ畑の一本道”！

入職当初は、新しい環境に慣れるまで必死でしたが、そんな時に、透き通った青い海、綺麗な夕日、見渡す限り一面に広がるサトウキビ畑の一本道など美しく豊かな自然に心が癒されました。明日もまた頑張ろうと活力をもらえるそんな景色です。



サトウキビ畑一本道



Sunset

笑顔と元気のもと、ONとOFFの両立!

離島へき地の
医療・看護と地域の魅力!

立ち会える喜び 子宝の島

徳之島徳洲会病院に助産師として入職し7年が経ちました。私の所属する病棟は産婦人科、小児科、眼科、内科、整形外科の混合病棟で、新生児から100歳超えの高齢者まで対象患者さまの年齢幅が広いことが特徴です。入職当初は一般病棟で看護師としての基本的な知識や技術を学び、現在は産科で助産師として外来や分娩業務に携わっています。私は3人の子供がおり、出産の時に助産師の存在に助けられました。私も患者さまに安心してもらえるような助産師を目指して、これからも島のお産に貢献していきたいと思っています。生まれ育った島、子宝の島で助産師として出産に立ち会えることに、とてもやりがいと誇りを感じています。



鹿児島県
徳之島

徳之島
徳洲会病院



“闘牛”と暮らす。それが日常!

プライベートでは闘牛1頭と畜産牛3頭を家族で飼育しています。休みの日は草刈りや牛のお世話をし、闘牛大会の日は、子供を連れて見に行くのが楽しみです。徳之島の伝統文化を楽しみながら助産師として島の妊産婦さまの支えになれるよう、これからも頑張ります。

お散歩へ
Let's go!



徳之島は釣りも盛んで、
こんな大きな魚も釣れます!!



Mage

鹿児島県
奄美大島

名瀬
徳洲会病院

島と都会をつなぐ 遠隔医療システム

300床規模の離島病院でありながら、最新の遠隔医療システムを導入しています。離島という限られた環境でも、患者さまに安全な医療を届けるために、日々頑張っています。当院では麻酔科常勤医1名体制の中、リスクの高い手術は東京の上級医と遠隔医療システムで連携し、リアルタイムに助言を受けながら麻酔を行っています。離島に住む方々にも、都市部と変わらない安心をお届けすることが私たちの使命です。

「どこにいても安心・安全な医療を」そんな想いで、日々取り組んでいます。これからは、ロボット手術や遠隔治療がますます成果を上げる時代がやってきます。離島医療を守り続けるために、ITやDXを活用しながら、患者さま一人ひとりの命を大切に見つめ、健全な生活が送れるよう推進していきます。

夏の名物“舟こぎレース”!

奄美大島へ移住して早5年、せっかく移住したのなら島の文化に触れたいと思い、舟こぎ部に入部しました。夏になると、仕事終わりに病院近くの漁港で舟こぎ練習をして、週末にはさまざまな集落の舟こぎレースに参加しています。舟こぎを通して職場内の多職種との繋がりができ、体を動かしてリフレッシュしながら島暮らしを楽しんでいます。



Rowing



笑顔と元気のもと、ONとOFFの両立!

離島へき地の
医療・看護と地域の魅力!



Setouchi

鹿児島県
奄美大島

瀬戸内
徳洲会病院

離島だから救えなかったをなくしたい 災害看護

瀬戸内徳洲会病院の看護は、離島ならではの症例や災害対応を経験しながら幅広く学べます。海や山での事故、熱中症や感染症などに加え、急性期から療養期、看取りまで地域の中核病院として24時間体制で救急を受け入れています。一人では解決できない課題に直面することも

宮田 亜里子さん



多々ありますが「離島だから救えなかった」をなくしたい思いで、同僚と共に日々切磋琢磨しています。諸島・与路島研修では、来院に1時間以上かかる患者さまの実情を体験し、船便や天候に配慮した診療や訪問診察の大切さを学びました。災害看護は、日々の備えこそが患者さまと地域を守る命綱。日頃からトリアージ練習や年1回の本番想定災害訓練を通じ、緊急時でも落ち着いて対応できる体制を整えています。病棟勤務は、最期をどう迎えるか悩む患者さまやご家族と向き合い、ご希望に沿った看取りを支援。現在は外来で内視鏡看護に挑戦中です。仲間の「子供が小さい時はお互いさま」という言葉に支えられ、仕事も育児も諦めず続けられています。

奄美の“島文化”が、私の活力!

瀬戸内町はシーカヤック大会や加計呂麻マラソン、みなと祭りなど行事が盛んで、職種を越えた仲間と交流しながら島の文化に触れることができます。休日は海や星空に癒され、患者さまと島で再会する喜びも経験。自然と人のつながりに支えられながら、離島ならではの看護を学び続けています。



子育ても安心!



Kayaking



鹿児島県
奄美大島

笠利病院



Kasari

通所リハビリ 105歳誕生日会

奄美大島は長寿の島で、90歳を超えても畑仕事やグラウンドゴルフを楽しむ方が多くいます。通所リハビリに通うHさんは105歳で、100歳から毎年誕生日会を開催。手作りケーキや衣装でお祝いし、戦争体験など貴重な話を聞かせてくれます。入院もなく週3回元気に通所されており、その姿に他の利用者さまやスタッフも「まだ若い」と驚かされています。



「おじ」「おば」と呼び合う温かい関係

笠利病院は、奄美大島北部に位置する人口約5,000人の自然豊かな地域に建つ、89床の療養病床を有する病院です。奄美空港から車で約10分とアクセスも良く、地域住民にとって安心して利用できる医療拠点となっています。地域密着型で、患者さま同士やスタッフとの距離が近く「おじ」「おば」と呼び合う温かい関係が日常です。畑仕事や島料理、八月踊りなど島の文化に触れる機会も多く「地域に根づいた病院」であることを実感します。ここでは退院後も患者さまと再会でき、元気な姿を見られるのが喜びで、患者さまの暮らしや背景を理解した「その人らしいケア」につながっています。6階建ての上階からは絶景が広がり、徳田虎雄名誉理事長もお気に入りの景色で、見学に来られた医師によく自慢されていたそうです。



空と海の間を駆け抜ける“パラグライダー”!

奄美大島は自然豊かでマリンスポーツの聖地。パラグライダーやダイビング、釣りなどを楽しみながら働くスタッフも多く、移住者もいます。自然と触れ合える環境で、仕事後に海を眺めたり自宅で果物を育てたりと、心身をリフレッシュしながら充実した日々を過ごしています。



Paragliding

海を眺めると心も身体もリセット!

バナナも菜園で採ります!

笑顔と元気のもと、ONとOFFの両立!

離島へき地の
医療・看護と地域の魅力!



北海道
日高

日高
徳洲会病院

ようこそ 応援看護師

日高徳洲会病院は、地域の中核病院を担っています。へき地医療として、道内施設より応援看護師の力を得ながら、看護を行っています。そのため、環境の違いを簡単にイメージしていただけるよう、応援看護師向けの案内動画を作成し事前にお渡しすることで、不安を軽減できるよう工夫しています。また、日高のインターンシップ(就業体験)では、看護技術の模擬実技や病棟業務の見学、訪問看護見学など、さまざまな体験ができます。



◀ 応援看護師向け
住宅紹介動画はコチラ

明日への活力! スイーツビュッフェ!!

応援看護師のみなさんも気軽に参加できる福利厚生イベント「スイーツビュッフェ」を開催しています。地元のパティスリーから集めたケーキやクレープなど、約40種類のこだわりスイーツが一堂に並ぶ特別な時間。部署を越えて交流できるため「気軽に話せる仲間ができた」「リフレッシュになった」と多くのスタッフに好評です。

ドラマで話題の日高で“乗馬体験”!

新ひだか町静内は、山あり!海あり!という、自然豊かな地域です。春には二十間道路の桜まつりが有名で、道内外より、たくさんの方が来られます。地域医療に携わり、自身のステップアップをしながら、乗馬体験などプライベートも充実できるところが、日高の良さです。



「応援看護師の方とは
名乗り交際!」とメンバーとリゾビタツ!



日高
徳洲会病院

山形県
新庄

新庄
徳洲会病院



当院職員が新庄市の
青少年育成推進委員として活動中

地域に密着した 医療と介護

新庄市の人口は約32,000人。高齢化率34.6%と過疎化、高齢化が進む地域で、新庄徳洲会病院は、中核病院として地域とともに歩む医療・介護を展開しています。今年初めて、市から新庄まつりの救護依頼があり、2日間の救護を担当。2名の看護師と医師会の医師、救急救命士2名とチームを組み、いざ救護へ。まつりを支える大切な役割を担いました。病院内での医療サービスだけでなく、違った視点で地域に貢献できたと実感しました。また、地域の子どもたちへの職業体験を積極的に受け入れ、将来の医療人材育成にも貢献しています。

Shinjo



職業体験



患者さまに寄り添う温かい手

当院がある最上医療圏は高齢化率39.3%で、褥瘡治療を目的とした入院症例も多く、褥瘡保有率は全国平均の6~7倍を推移しています。褥瘡ケアの質向上を目的にWOCナースが中心となり、地域全体で研修や多職種連携を推進しています。また、介護福祉士を中心とした通所リハビリでは、雪深い地域でも「患者さまに寄り添う温かい手」をモットーに、ADLやQOLの維持・向上に努めています。

地域に寄り添う
訪問看護師



伝統の“新庄まつり”に参戦!

仕事の合間に、地域の消防団として活動したり、伝統の新庄まつりに参加したりと、地元の一員としての時間を大切にしています。地域の人々や文化に触れながら、新庄市の温かさを全国の皆さんに発信していきたいと思ひます。



✈️ Japan

インドネシア特定技能生26名が 新たに徳洲会の仲間!



Indonesia

Jakarta



徳洲会グループでは、2025年8月よりインドネシアの特定技能生を受け入れています。1期生は26名、2期生は31名が徳洲会グループの病院・施設に入職します。



インドネシアは、赤道に沿った14,000以上の島々からなる多民族国家です。国民の約87%がイスラム教徒で、世界で一番イスラム教徒の多い国ですが信仰は自由で、さまざまな民族や文化、宗教を尊重している国です。

インドネシアでの勉強の様子から内定までの流れ



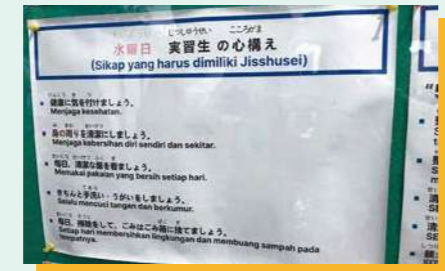
▲ジャカルタ郊外にある「OS SELNAJAYA」は日本の介護を学ぶ学校です。



▲日本人の介護福祉士より実演を通して介護を学びます。



▲6か月間、全員寮生活で集中的に日本語を勉強してN4を取得!



▲日本で働く心構えを掲示!



▲インドネシアにはない、ゴミの分別など生活習慣も学びます。



2期生

Congratulations
徳洲会グループの面接後
内定もらった学生たち

1期生 日本入国前に タンジーラさんのお宅訪問

タンジーラさんの入国前の思い

日本語が通じるかどうか心配です。クレヨンしんちゃんの漫画で、日本語を勉強しています。日本に行ったら春日部に行きたいです!



▲お父さんとお母さんにもお話をお伺いしました。



素敵なリビング♪

ご両親の思い



家の裏の畑では、ココナッツやアボカドなどが実っていました!



▲お祈りの部屋です。ここで、タンジーラさんのお母さんが近所の子供たちにコーランを教えています。

将来は、インドネシアでも日本でもよいので、彼女には進学して看護師になってほしいと思っています。高校卒業後看護師を目指したのですが、現状のインドネシアでいろいろな理由で叶わず、2番目の希望であった日本で働くことになりました。今回日本に行くことは、神様のおぼしめです。タンジーラは賢い子ですので、日本でたくさんことを学び、進学に必要な費用を貯めてほしいと思います。私たち親のためではなく、彼女自身のために頑張してほしいと思っています。

ご両親からの質問

- Q. 徳洲会グループはどのようなグループですか?
A. 日本の民間で最大の医療グループです。「いつでも、どこでも、誰でもが最善の医療を受けられる社会」を目指しています。
- Q. 彼女が日本に着いたら、誰か迎えに来てくれますか?
A. 徳洲会グループの職員がお迎えに上がります。
- Q. 住むところはどんなところですか? 職場までの通勤方法は?
A. 徒歩又は自転車で通勤できるところを用意します。



▲左から弟さん、お母さん、タンジーラさん、お父さん

2025年8月26日、
タンジーラさん
入国しました!



インドネシア特定技能生26名が新たに徳洲会の仲間!

海外研修

中華人民共和国



China

Dezhou City
Jinan City

Japan

中国は、東アジアの大国で、人口14億人を超え、広大な国土は日本の約26倍といわれています。長い歴史と多様な文化、急成長した経済と技術力で国際社会に大きな影響を与えています。首都は北京で、標準中国語を公用語とし、一帯一路などの外交を進めています。

第6回

德州中日血管外科国際シンポジウム



FORUM
開催日：2025年8月2日
開催場所：中国山東省 徳州市

参加者

- 八木沼 正子 (東京本部 看護部門 本部長)
- 坂本 眞起代 (東京本部 看護部門 教育部 本部長)
- 堀 里美 (帯広徳洲会病院 看護部長)
- 菅原 隆広 (東京西徳洲会病院 看護師長)
- 山本 動太 (宇治徳洲会病院 副主任、特定行為研修修了者)



▲ シンポジウム参加者

2025年8月1日

中国山東省済南市 山東大学齊魯病院の分院にあたる德州医院の見学

- 山東省の人口は、約1億1,200万人と日本の人口とほぼ同等
- 德州医院は、1,800床の病床数で約1,000床が稼働
17室ある内視鏡センターや40室以上ある手術室などすべてが日本の病院とは桁違いのスケールになっています。
- DX化に注力
人員削減につながる効率的な運用として、内視鏡の自動洗浄機と清潔スコープ、不潔スコープについてロボットが目的の場所まで運ぶシステムになっています。



▲ 中国の看護師と坂本部長 (右)

德州医院見学、中国の看護師とのディスカッション

- それぞれの国の看護の動向や制度の違いなどの説明、教育や看護体制などについて意見交換
中国の仕組みは、修士・博士、論文などの実績評価が職称に必要であり、昇格基準の仕組みが日本より制度化されています。



▲ ディスカッションを行ったメンバー

2025年8月2日

第6回德州中日血管外科国際シンポジウムへ参加

- 座長 坂本 眞起代
- 「日本の看護について」 八木沼 正子
- 「心臓カテーテル検査・治療体制構築に向けた取り組み」 堀 里美
- 「地域医療を支える心臓血管外科ホットライン」 山本 動太
- 「予期せぬ心肺停止発生率低減に向けての取り組み～RRT: Rapid Response Teamとしての関わり～」 菅原 隆広

会場参加者 150名
オンライン視聴者 6,000名

研修終了後の感想

国が違っても「看護の心」は同じものであることを実感!
堀 里美



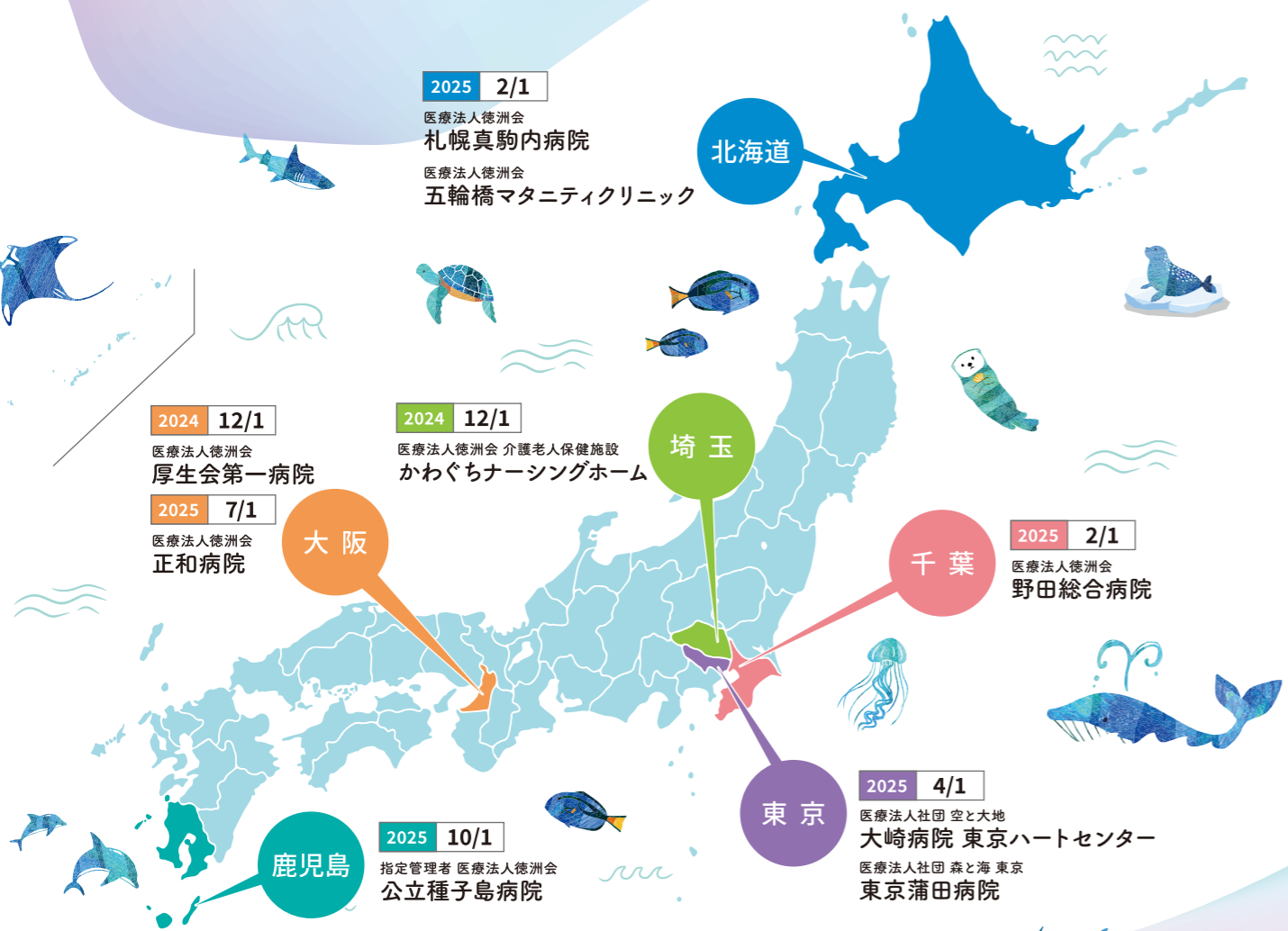
今回の演題発表を通して自信を得ることができ、まだまだ発表技術は不足点が多いが、苦手意識が軽減!
山本 動太

中国研修に参加し、異文化に触れることができたのは、確実に自分の人生の中で視野を広げることにつながった
菅原 隆広



新しく仲間になる病院・施設

新しく徳洲会グループの仲間になりました



2025 2/1
医療法人徳洲会
札幌真駒内病院
医療法人徳洲会
五輪橋マタニティクリニック

2024 12/1
医療法人徳洲会 介護老人保健施設
かわぐちナーシングホーム

2024 12/1
医療法人徳洲会
厚生会第一病院

2025 7/1
医療法人徳洲会
正和病院

2025 2/1
医療法人徳洲会
野田総合病院

2025 4/1
医療法人社団 空と大地
大崎病院 東京ハートセンター
医療法人社団 森と海 東京
東京蒲田病院

2025 10/1
指定管理者 医療法人徳洲会
公立種子島病院

北海道

2025 医療法人徳洲会
2/1 札幌真駒内病院



垣根の低い病院に

看護部長 工藤 昭子

2010年に設立され、2025年2月からグループに仲間入りしました。札幌市内で1番大きな南区に位置し、閑静な住宅街の中にあります。地域の方がいつでも相談でき、気軽に診察を受けられるよう、垣根の低い病院でありたいと考えています。また職員にとっても、働きがいのある職場環境を整備して、長く定着してもらいたいと思っています。まだまだ伸びしろがたくさんあるこの病院で、職員一丸となって頑張ります。



千葉

2025 医療法人徳洲会
2/1 野田総合病院



「心に届く看護」を

看護部長 辰澤 智恵

2025年2月に徳洲会グループとなり、野田総合病院として新たにスタートしました。当院は、千葉県野田市にある350床の急性期総合病院です。産婦人科では、無痛分娩にも力を入れています。優しさと思いやりをもって患者さまとご家族に寄り添い「心に届く看護」を実践しています。地域にとってなくてはならない病院になれるよう、職員一団力をあわせて頑張っています。



東京

2025 医療法人社団 空と大地
4/1 大崎病院 東京ハートセンター



患者さまの生き方・思いに寄り添い 信頼される看護を

看護部長 神部 雅子

当院は品川区にある88床の病院です。循環器の専門医療を通して地域貢献に努め、在宅診療医と連携し入院加療が必要な高齢の方も積極的に受け入れています。「安心していただける高度な医療」と「hospitality」を理念に掲げ、地域で頼りにされる病院であるよう努めています。看護部は患者さまの生き方・思い・考えに寄り添い、誠実で信頼される看護を目指しています。



2024 医療法人徳洲会
12/1 厚生会第一病院



温もりある看護と安心の医療を

看護部長 清水 千里

1985年創立の当院は、151床を有する地域密着型の2次救急指定病院です。救急医療から日常の健康管理まで幅広く対応し、地域の皆さまに安心と信頼の医療を提供しています。看護部は「患者さま一人ひとりに寄り添う看護」を大切に、アットホームで温かな雰囲気の中で、チームワークを活かした看護を実践し、地域の健康と暮らしを支えています。



大阪

2025 医療法人社団 森と海 東京
4/1 **東京蒲田病院**




地域に愛される看護部へ!

看護部長 佐藤 由美



当院は大田区に位置する急性期一般・地域包括ケア・医療療養の病床を併せ持つケアミックス病院です。

看護部の理念は「地域に根差した温かい看護の実践」です。地域の皆さまに愛される病院・看護部を目指し、患者さまやご家族そして職員の幸せのため、笑顔と挨拶を大切に質の高い医療・看護の提供に日々努めています。




東京



2024 医療法人徳洲会 介護老人保健施設
12/1 **かわぐちナーシングホーム**

地域で必要とされる看護を目指して



総師長 佐藤 朋子

2019年に開設し「在宅復帰」「在宅支援」「地域貢献」施設として活動しています。コロナ禍以降は感染予防策を徹底し、施設見学やご家族の面会、外出・外泊、季節行事、ボランティアの受け入れなど、積極的に推進しています。看護課は協力医療機関まで車で30分以上を要するハンデの中、施設医指示のもと日常生活からターミナルケアに至るまで、多職種と連携しながら実践し、幅広い視野を持って業務を進めています。

埼玉



2025 医療法人徳洲会
7/1 **正和病院**

大阪一の人口密集地を支える



看護部長 長嶋 亮子

1964年、大阪市の中で人口が一番多く密集している平野区に開設し、現在は一般病棟、医療療養病棟、地域包括ケア病棟を有しています。いつでも地域の皆さまに安心してご利用いただける病院として、持っている機能を十分に発揮し、真心を込めた医療と看護で役割を果たせるよう努めています。今後はさらに質の良いサービスの提供と、職員が一体となり気持ち良く働ける環境づくりを目指してまいります。

大阪



2025 医療法人徳洲会
2/1 **五輪橋マタニティクリニック**

患者さまに寄り添った看護の提供を

師長 出合 美奈子



当クリニックは、札幌市南区唯一の分娩施設を持つ病院として30年以上の歴史があり、2016年にクリニックへ移行しました。婦人科・小児科外来も併設し一般診察、各種健診にも対応しています。妊娠中から産後まで患者さまやご家族が、安心・安全に出産を迎え、不安なく子育てができるようクリニック全体で、職員の知識、技術の向上に努めてまいります。

北海道

※2025年10月1日時点のグループ参入病院・施設



2025 指定管理者 医療法人徳洲会
10/1 **公立種子島病院**

職員とともに新たなステージへ

看護部長 相原 雅永

当院はJAXA宇宙センターがある南種子町にあります。1983年に診療所からスタートし、1990年に町立病院、2001年に南種子町と中種子町からなる公立種子島病院組合に経営母体に移り、2004年に新築移転し現在の病院が開設されました。今後も種子島南部医療圏の中核病院としての役割を果たせるよう地域住民と職員の声に誠実に応え“心に届く看護”を実践してまいります。





鹿児島

徳看マガジン vol.16 アンケートのお願い

徳洲会看護部では、毎年『徳看マガジン』を発行し、看護の現場での取り組みや人材育成の様子をお届けしています。より読みやすく、皆さまに役立つ誌面にするため、内容についてのご意見・ご感想をお寄せください。率直なお声を次号の参考にさせていただきます。皆さまからの一つひとつのご意見が、誌面をより良くする力になります。ぜひ、ご協力をお願いします。

回答所要時間は2分程度です。右記のQRコードからご回答ください。



徳看マガジン vol.16 アンケートフォーム

※いただいたご回答は統計的に集計し、個人が特定される形で公表することはありません。
※フォームを送信する際に、ご自身のお名前やメールアドレスなどの詳細情報を入力しない限り、その情報が自動的に取得されることはありません。